



野菜の摂取量向上に向けた取組

保健医療局健康医務部健康対策課

あいち食育いきいきプラン2020の目標

項目	基準年(2014)	現状		目標(2020)
野菜の摂取量(成人1日あたりの摂取量)	265g	241g(2018)	306g(2019)	350g以上

数値：愛知県分(政令・中核市除く)

1 現状と課題

「2020年国民健康・栄養調査」は、コロナ禍の影響で中止となり、2019年の調査結果によると、愛知県の野菜摂取量は目標値である350gを下回っており、都道府県別野菜摂取状況においても2012年は全国最下位、2016年は下位群の状況であるため、野菜摂取量の増加を図る必要がある。

2 主な取組

(1) 2020年度までの取組実績と評価

2016～2018年度は、「生活習慣の改善にチャレンジしてみよう!」という県民の気運を高めるために、生活の身近な場所から健康情報を一斉に発信する「健康づくりチャレンジ推進事業」に取り組み、また、2019年度から県民が野菜摂取量の増加も含め、バランスの良い食事を選択できる環境づくりを、関係機関との連携により推進する「食生活改善支援事業」に取り組んだ。

○啓発イベントの開催

ステージイベント、食・運動・健康の体験型ブース

○あいち健康情報ステーションの設置

協賛するスーパー、飲食店、社員食堂等

○研修会の開催

飲食提供施設や事業者等に対して、自発的な食生活改善の取組みを促す

○実践活動支援の実施

健康に配慮した食事提供等に取り組む飲食提供施設等を支援

【評価】

健康づくりチャレンジ推進事業の3年間の取組みは、健康づくりへの関心は高まり、情報発信力は強化された。また、県民が健康に配慮した食生活を自然に実践できるよう支援するため、飲食提供施設等に対する研修会の開催などにより、健康な食環境整備への関心が高まった。新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、事業を継続することで認知度を上げることができたので、主体的な食生活改善の取組みを、今後も一層拡充していく必要がある。



イベントの様子



ステーションの様子



研修会の様子

(2) 2021年以降の取組(予定)

「あいち食育いきいきプラン2025」において、「毎日3回以上野菜を食べる成人の割合」を目標に掲げ、達成に向けて、県民一人ひとりのライフスタイルに即した適切な食生活の実践を支援するために、引き続き「食生活改善支援事業」を実施する。

また、今までの取組みを参考に県内統一的な展開として、健康に配慮した食事提供や健康づくりに資する情報発信を多様な方面から効果的に行うなど、飲食提供施設等を対象とする食環境の整備を推進する。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ

<食生活改善支援事業の実施>

○食環境整備：食育推進協力店登録事業(リニューアル予定)との連携・モデル取組み

○普及啓発支援：あいち健康チャレンジ強化月間(9月)、取組み集中化

○地域分析：「健康日本21あいち新計画」の次期計画参考資料作成



学校給食における地域の産物の活用に向けた取組

教育委員会事務局 学習教育部 保健体育課

あいち食育いきいきプラン 2020 の目標

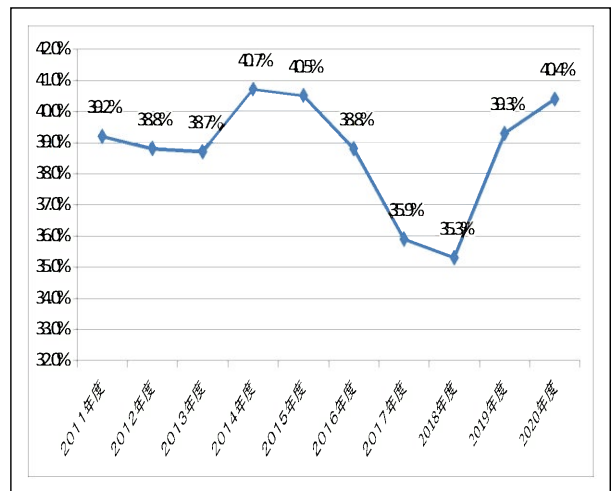
項目	基準年	現状	目標 (2020)
全食品数に占める県産食品数の割合	40.5% (2015)	40.4 (2020)	45%以上
年間に使用した県産食品の種類	54 種類 (2014)	55 種類 (2020)	60 種類以上



1 現状と課題

2007年度から、食育月間である6月に「愛知を食べる学校給食の日」を実施し、2011年度からは、年3回（6月・秋・1月）に拡充した。しかし、①使用量が確保できない、②規格・サイズにあった食材が必要量確保できない、③価格が高い・安定していない等の理由により全食品数に占める県産食品数の割合は目標に届いていない。

今後は、環境に優しい暮らしを築くために地域の産物の活用があることを各学校へ働きかけていく必要がある。



全食品数に占める県産食品数の割合

2 主な取組

(1) 2020 年度までの取組実績と評価

本県の学校食育では、「食を通じて豊かな心を育む」こと等をめざしており、その施策として「愛知を食べる学校給食の日」の年3回の実施や「わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」を行い、学校給食で地場産物の活用率アップを目標に取り組んでいる。

【評価】

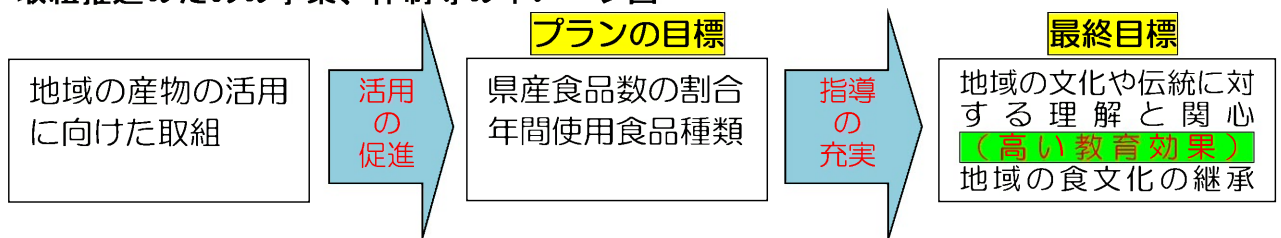
コンテストでは、198校、4,233点の応募があり、予選において、優良賞受賞者10名、佳作入賞者90名を決定した。なお、本選については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。コンテストを通じて地域の食材と食文化の理解に繋げることができた。

なお、天候不順の影響で収穫量の不安定さによる野菜価格の高騰や新型コロナウイルス感染症の影響により目標値には届かなかったが、引き続き、粘り強く、地場産物活用率アップに取り組んでいく。

(2) 2021 年度以降の取組 (予定)

引き続き「愛知を食べる学校給食の日」を実施し、愛知の自然の恵みの中で採れる地場産物への理解を深めるとともに、地域の産物の活用が環境への配慮につながることを関係部局と連携を図ることで各学校に浸透を図っていく。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図





郷土料理等地域の食文化の継承に向けた取組

農業水産局農政部食育消費流通課

あいち食育いきいきプラン 2020 における位置づけ

Ⅳ 県や関係団体の取組

1 目指すべき姿に向けての取組

1-2 食を通じて豊かな心を育むために

(3) 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

イ 給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進

ウ 日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承

1 現状と課題

2013年12月の「和食；日本人の伝統的な食文化」ユネスコの無形文化遺産登録を契機に、伝統的な食文化の保護・継承の重要性が高まっており、本県に伝わる郷土料理等の食文化の理解を促進し継承していく必要がある。

農林水産省では、2019年度からの3年間で、全国の郷土料理の歴史やレシピ等のデータベース「うちの郷土料理」を作ることとしており、本県は2019年度にデータベース作成に協力し、農林水産省のWebページから本県の郷土料理を検索することが可能となっている。

2 主な取組

(1) 2020年度までの取組実績と評価

2016年度に作成した「あいちの郷土料理レシピ50選」*は、県内の郷土料理のレシピを写真と共に掲載しており、「食育ネットあいち」に掲載し、広く県民が見ることができるようになっている。また、2019年度に増刷して調理講習会等で参加者に配布している。

2020年度は、本冊子の掲載文や写真の提供依頼が、一般企業やテレビ等のメディアなどから15件あり、個々に対応した。



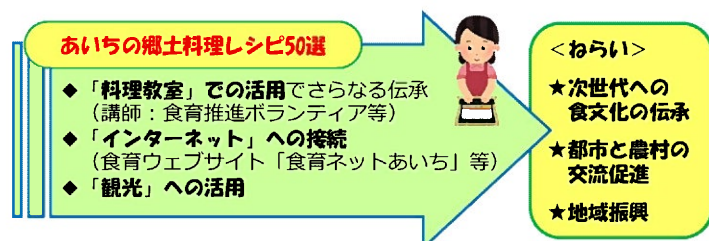
【評価】

「郷土料理」に対する関心は高く、年間を通して問合せがあり、「あいちの郷土料理レシピ50選」を通して、広く普及啓発に役立っている。今後も、この冊子を食文化の継承に活用していく。

(2) 2021年度以降の取組（予定）

- ・ 「あいち食育いきいきプラン 2025」において、「郷土料理等の食文化を家庭や地域で次世代に伝えている人の割合」を目標に掲げ、達成に向けて、県民を対象としたイベントにおいて、「あいちの郷土料理レシピ50選」の紹介を行い、食文化の理解を促していく。
- ・ 食育推進ボランティアに、「あいちの郷土料理レシピ50選」を活用した料理教室等で、県内各地域での食文化継承に取り組んでいただくための支援及び働きかけを行っていく。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図



※「あいちの郷土料理レシピ50選」

愛知県に伝わる郷土料理のうち、地域で脈々と受け継がれている料理を選定し、それにまつわる歴史、いわれ、文化、レシピ伝承活動等について取りまとめたレシピ集。(2016年度作成)



食育推進ボランティアの育成と活動の充実に向けた取組

農業水産局農政部食育消費流通課

あいち食育いきいきプラン 2020 の目標

項目	基準年(2014)	現状			目標(2020)
		10.7万人 (2018)	11.1万人 (2019)	1.3万人 (2020)	
食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	9.1万人				10万人以上/ 年間

1 現状と課題

「愛知県食育推進ボランティア（以下「ボランティア」という。）は、県民が健全な食生活を実践できるよう、県内各地域で様々な食育活動を行っており、2021年3月末時点では、973名が登録している。

2020年度は、コロナ禍の影響で対面による講演や調理講習等が開催できず、前年度より大幅に少ない1.3万人が食育ボランティアから食育を学んだ。

2021年度は、オンラインでの講座の開催など新しい手法での取組を啓発していくとともに、活動が途切れることがないよう、県として必要な支援を行っていく。

2 主な取組

(1) 2020年度までの取組実績と評価

2017年度から、「郷土料理」、「野菜摂取量の向上」、「環境に優しい食生活」をテーマとしたシンポジウムや調理講習会を実施し、講師による講演や実習を通して、ボランティア等の資質向上を図るとともに、様々な食育に関する情報提供に努めた。その結果、ボランティアの活動が地域に広がり、2019年度までは食育を学んだ人数の目標を達成することができた。

【評価】

「あいち食育いきいきプラン 2020」の5年間の評価として、2014年度を基準に2019年度までの4年間は目標を上回ったが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、講座等の中止が相次いだため、目標に至らなかった。今後は、コロナ禍での活動を視野に入れていく。

(2) 2021年度以降の取組（予定）

「あいち食育いきいきプラン 2025」では、「食育推進ボランティアから食育を学んだ人数」の目標を12万人とし、達成に向けて、食育推進ボランティアや食育に関心の高い県民等に対してシンポジウムの開催、バランスの取れた食事をテーマとした調理講習会を開催し、参加者の資質向上を図る。また、企業や学校等との連携を促し、活動の充実を支援する。

さらに、食育推進ボランティア等が活用するため、本県の特徴を盛り込んだ小学生向けの食育啓発資料を作成し、食育を学んだ人数が増加するよう取組を支援していく。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図



調理講習会（聴講型）



調理講習会（実習型）



完成した料理